



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社幸楽苑ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7554 URL <https://hd.kourakuen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 新井田 傳
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 渡辺 秀夫 (TEL) 024-943-3351
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,189	△0.4	△460	-	△465	-	△494	-
2023年3月期第1四半期	6,216	△0.7	△340	-	△61	-	△13	-

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △489百万円(-%) 2023年3月期第1四半期 △7百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	1潜在株式調整後 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△32.82	-
2023年3月期第1四半期	△0.86	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	10,431	368	3.3
2023年3月期	10,796	865	7.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 347百万円 2023年3月期 836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,300	4.9	△50	-	△90	-	△150	-	△9.97
通期	26,000	2.1	200	-	120	-	20	-	1.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	16,774,841株	2023年3月期	16,774,841株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,722,949株	2023年3月期	1,722,859株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	15,051,910株	2023年3月期1Q	15,042,977株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
3. その他	10
(1) 継続企業の前提に関する重要事象等	10
(2) 販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年6月30日まで)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたこと、感染法上の分類が5類に引き下げられたことから、個人消費を中心に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による原材料及びエネルギー価格の上昇、世界的なインフレ率の上昇と日米金利差拡大による円安の進行等が続いたことで、依然として先行きが不透明な状況で推移しております。

外食産業におきましては、人手不足による人件費関連コストの上昇に加え、原材料費、光熱費、物流費などの店舗運営コストの大幅な上昇により、大変厳しい経営環境が続いております。

このような経済環境の中、当社グループでは経営方針として「原点回帰」を掲げ、業績のV字回復を達成するために「外食の原点である魅力のある商品作りとメニューの絞り込み」「人手不足の解消による営業時間の正常化」「全店舗のQSCの立て直しと安全安心な食事環境の提供」「コスト削減」「不採算店舗の撤退・FC化の進展」等の重点課題、施策に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は6,189百万円(前年同期比0.4%減)、営業損失460百万円(前年同期は営業損失340百万円)、経常損失465百万円(前年同期は経常損失61百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は494百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失13百万円)となりました。

また、当第1四半期連結会計期間末のグループ店舗数は、424店舗(前年同期比16店舗減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであり、金額については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んで表示しております。

① ラーメン事業

ラーメン事業においては、「中華そば」、「中華そばプレミアム」、「餃子極」等の定番メニューへの絞り込みを進めるとともに、「ねぎ玉中華そば」「野菜ごまダレねぎ玉中華そば」「激辛マールーつけめん」「背脂牛肉つけめん」「冷やし中華」等の期間限定商品を随時投入しました。

店舗展開は、新規出店は行わず、不採算店舗の撤退を行いました。その結果、店舗数は、直営店379店舗(前年同期比16店舗減)となり、業態別には「幸楽苑」373店舗、「幸楽苑 since1954+幸楽苑のからあげ家」6店舗となりました。

この結果、ラーメン事業の売上高は5,536百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

② その他の事業

その他の事業は、フランチャイズ事業(ラーメン業態のフランチャイズ展開)、その他外食事業(洋和食業態の店舗展開)を行っております。

フランチャイズ事業は、店舗数は19店舗(国内12店舗、海外7店舗)となりました。その他外食事業は、「焼肉ライク」直営店11店舗、「焼肉食堂まんぷく」直営店1店舗、「からやま」直営店7店舗、「赤から」直営店4店舗、「餃子の味よし」2店舗、「VANSAN」1店舗となりました。

この結果、その他の事業の売上高は652百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて134百万円減少し、2,274百万円となりました。これは、現金及び預金が157百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて230百万円減少し、8,156百万円となりました。これは、建物及び構築物が142百万円、リース資産が81百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて365百万円減少し、10,431百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて302百万円増加し、6,883百万円となりました。これは、短期借入金が500百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が188百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて171百万円減少し、3,179百万円となりました。これは、長期借入金が76百万円、固定負債「その他」に含まれるリース債務が62百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて131百万円増加し、10,063百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ497百万円減少し、368百万円となりました。これは、利益剰余金が494百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想は、2023年5月15日公表の連結業績予想から変更はございません。

なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,285,220	1,127,951
売掛金	551,142	530,204
棚卸資産	268,806	284,454
その他	304,428	332,030
流動資産合計	2,409,597	2,274,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,511,401	3,368,854
土地	1,363,012	1,363,012
リース資産(純額)	1,224,841	1,142,896
その他(純額)	287,943	295,081
有形固定資産合計	6,387,200	6,169,844
無形固定資産	140,366	137,615
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,458,883	1,458,228
その他	402,195	390,777
貸倒引当金	△1,380	-
投資その他の資産合計	1,859,699	1,849,006
固定資産合計	8,387,266	8,156,465
資産合計	10,796,864	10,431,107
負債の部		
流動負債		
買掛金	782,676	832,223
短期借入金	2,300,000	2,800,000
1年内返済予定の長期借入金	1,058,778	870,761
未払費用	1,007,518	967,247
未払法人税等	40,503	20,386
店舗閉鎖損失引当金	19,518	28,903
転貸損失引当金	4,261	4,861
その他	1,367,696	1,359,497
流動負債合計	6,580,953	6,883,882
固定負債		
長期借入金	1,356,678	1,280,000
退職給付に係る負債	203,124	198,735
転貸損失引当金	8,220	6,013
資産除去債務	882,339	878,820
役員株式給付引当金	12,330	-
その他	887,933	815,589
固定負債合計	3,350,625	3,179,158
負債合計	9,931,578	10,063,041

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,988,273	2,988,273
資本剰余金	3,084,013	3,084,013
利益剰余金	△2,886,144	△3,380,190
自己株式	△2,383,218	△2,383,315
株主資本合計	802,923	308,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,265	4,045
退職給付に係る調整累計額	31,446	34,414
その他の包括利益累計額合計	33,711	38,459
新株予約権	28,650	20,825
非支配株主持分	-	-
純資産合計	865,285	368,065
負債純資産合計	10,796,864	10,431,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	6,216,874	6,189,372
売上原価	1,686,031	1,782,710
売上総利益	4,530,843	4,406,661
販売費及び一般管理費	4,871,388	4,867,157
営業損失(△)	△340,544	△460,495
営業外収益		
受取利息	541	399
固定資産賃貸料	45,663	35,650
新型コロナウイルス感染症による助成金	332,449	-
その他	28,031	31,514
営業外収益合計	406,685	67,564
営業外費用		
支払利息	17,280	20,437
固定資産賃貸費用	42,315	31,294
その他	68,443	21,184
営業外費用合計	128,038	72,916
経常損失(△)	△61,897	△465,848
特別利益		
新株予約権戻入益	-	13,915
役員株式給付引当金戻入益	-	12,330
賃貸不動産売却益	29,749	-
その他	31,279	2,120
特別利益合計	61,029	28,365
特別損失		
減損損失	1,101	18,644
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	11,025
その他	20,043	15,683
特別損失合計	21,144	45,353
税金等調整前四半期純損失(△)	△22,012	△482,836
法人税、住民税及び事業税	11,340	11,210
法人税等調整額	△20,351	-
法人税等合計	△9,011	11,210
四半期純損失(△)	△13,000	△494,046
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,000	△494,046

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△13,000	△494,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	1,779
退職給付に係る調整額	5,546	2,968
その他の包括利益合計	5,441	4,748
四半期包括利益	△7,559	△489,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,559	△489,297
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(固定資産の譲渡)

当社は下記のとおり2023年3月31日に固定資産譲渡契約を締結し、2023年7月7日に譲渡を行いました。

1. 譲渡の理由

経営資源の有効活用による資産効率の向上を図るため、保有資産の譲渡を行うものです。

2. 譲渡資産の内容

資産の内容	所在地	帳簿価格	譲渡益
土地	千葉県千葉市中央区神明町	293百万円	173百万円

3. 譲渡先の概要

譲渡先につきましては、譲渡先との取り決めにより公表は差し控えさせていただきます。

なお、当社と譲渡先の間には、資本関係、人的関係及び取引関係はなく、また、関連当事者にも該当しません。

4. 譲渡の日程

- (1) 契約締結日 2023年3月31日
(2) 引渡期日 2023年7月7日

5. 業績に与える影響

当該固定資産の譲渡に伴い、2024年3月期第2四半期連結会計期間において譲渡益173百万円を特別損益に計上する予定であります。

(第三者割当増資)

2023年7月12日開催の取締役会において決議いたしました第三者割当による新株式発行に関し、2023年7月31日付で払込手続が完了いたしました。

第三者割当増資の概要

(1) 払込期日	2023年7月31日	
(2) 発行新株式数	普通株式	669,000株
(3) 発行価額	1株につき	1,017円
(4) 発行価額の総額	680,373,000円	
(5) 資本組入額	資本金	340,186,500円
	資本準備金	340,186,500円
(6) 募集又は割当方法	第三者割当の方法によります。	
(7) 割当先及び株式数	アリアケジャパン株式会社	294,900株
	株式会社NNアセットマネジメント	196,600株
	ヤマモリ株式会社	98,300株
	株式会社ミクロ	30,000株
	アサヒビール株式会社	29,400株
	ハナマルキ株式会社	9,800株
	タマノイ酢株式会社	5,000株
	播野勤	5,000株
(8) 資金使途	休業店舗再開に向けた人件費 不採算店舗の撤退費用 売上拡大に向けた販売促進費用	

3. その他

(1) 継続企業の前提に関する重要事象等

新型コロナウイルス感染症による行動制限がなくなることで、当社グループのメインターゲットであるファミリー、シニア層による外食機会は増加傾向にあります。しかしながら、人手不足の影響により、引き続き一部店舗の営業時間短縮及び休業を余儀なくされており、売上高の回復が想定以上に遅れる結果となりました。それに加えて、人手不足による人件費関連コストの増加、原材料費、光熱費、物流費などの店舗運営コストが上昇した結果、当第1四半期連結会計期間において継続して営業損失を計上しております。

この結果、営業損失が継続するとともに、当第1四半期連結会計期間末において金融機関との間で締結しているシンジケート・ローン契約に付されている財務制限条項に抵触しております。さらに、当第1四半期連結会計期間末の流動負債6,883百万円は流動資産2,274百万円を大きく上回っていることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況に対して、人手不足の解消による営業時間の正常化、定番メニューの絞り込みによる店舗運営の効率化、メニューミックスによる客単価の上昇、店舗運営コストの上昇を考慮した一部商品の価格改定、販売促進費の大幅な削減及び固定費管理の徹底、不採算店舗の退店等を実施することにより営業損失を解消させる計画であるとともに、財務制限条項への抵触については、金融機関に対して業績回復に向けた施策を説明し、財務制限条項を適用除外頂き、重要な資金繰りの懸念はありません。

以上の状況により、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。

(2) 販売の状況

① 品目別販売実績

(単位：千円)

品目	前第1四半期 自 2022年4月1日 至 2022年6月30日		当第1四半期 自 2023年4月1日 至 2023年6月30日		(参考)前期 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日	
	売上高	百分比	売上高	百分比	売上高	百分比
直営店売上		%		%		%
らーめん類	3,243,043	52.2	2,877,976	46.5	13,401,015	52.6
セット類	1,246,123	20.0	1,667,854	26.9	4,938,893	19.4
ギョーザ	383,801	6.2	335,671	5.4	1,503,486	5.9
ごはん類	253,292	4.1	207,242	3.4	1,027,910	4.0
ドリンク類	105,004	1.7	123,720	2.0	461,625	1.8
洋・和食類	374,107	6.0	351,180	5.7	1,527,310	6.0
その他	494,797	8.0	485,041	7.8	2,057,806	8.1
計	6,100,170	98.2	6,048,685	97.7	24,918,049	97.8
F C店等材料売上	105,787	1.7	103,639	1.7	492,157	1.9
ロイヤリティ収入	9,633	0.1	22,288	0.4	41,054	0.2
その他	1,283	0.0	14,757	0.2	10,591	0.1
合計	6,216,874	100.0	6,189,372	100.0	25,461,852	100.0

(注) 1. 数量は品目が多岐にわたり表示が困難なため、記載を省略しております。
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

② 地域別販売実績

(単位：千円)

地域別	前第1四半期 自 2022年4月1日 至 2022年6月30日			当第1四半期 自 2023年4月1日 至 2023年6月30日			(参考)前期 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日		
	売上高	百分比	期末店舗数	売上高	百分比	期末店舗数	売上高	百分比	期末店舗数
東北	2,120,606	34.8	139	2,174,233	36.0	137	8,857,201	35.5	137
関東	3,199,697	52.5	233	3,175,695	52.5	222	12,999,735	52.2	229
東海	239,038	3.9	15	219,689	3.6	14	966,365	3.9	15
北陸甲信越	447,105	7.3	33	382,861	6.3	29	1,708,628	6.9	30
関西	93,721	1.5	3	96,206	1.6	3	386,119	1.5	3
計	6,100,170	100.0	423	6,048,685	100.0	405	24,918,049	100.0	414

(注) 1. 上記の金額は、直営店売上についての地域別販売実績であります。
2. 千円未満は切り捨てて表示しております。